

令和6年度 空知地区ボランティア活動推進セミナーに参加しました

趣 旨 ボランティア実践者の資質向上やボランティア活動の普及・促進、ネットワークの充実化を目的に開催され、空知地区のボランティア活動者が一堂に会しました。
主 催 北海道社会福祉協議会空知地区事務所 後 援 空知管内社会福祉協議会連絡協議会

と き

令和7年2月14日(金)
14:00~16:40

と ころ

岩見沢文化センター
「まなみーる」2階音楽室

講 義 ②

「DWATについて」・「避難所での対策 簡易ベッド編」
「ペットの防災チェック」・体験 段ボールベッドの設置

講師：北海道災害支援ボランティアチームノース

代表 池島 和行氏

副代表 岸本 美穂氏(ペット防災サポート士 防災士)

チーム員 須田 孝一氏(北海道DWATチーム員 災害支援ケアマネ 防災士)



段ボールベッド・簡易テントの組立



寒さ等の対策に簡易的なマットの活用!

講 義 ①

「災害ボランティアの現状と災害ボランティア参加に当たっての留意点について」

講師：坂本 豊氏

(北海道社会福祉協議会
地域福祉部 市民活動推進課長)

講師から一言!

災害ボランティアには多種多様な支援方法があります。北海道では避難所での寒さ対策が重要です。段ボールベッドの組み立ては複数人で行えば意外と早く完成するし、囲いも段ボールや布、テント方式もありプライバシーも以前よりは改善されて来ています。ペットとの避難は今後、問題になるので自治体等の情報に注意し、日頃から躰や備えをしておくべきです。DWATは避難所での二次被害を防止するための支援であるので今後、周知が必要です。DWAT:Disaster Welfare Assistance Team (災害派遣福祉チーム)



～ ボランティアの窓 (vol.5) ～

【団体紹介】今回は在宅介護ボランティア輪っこの会の活動の様子を紹介します!

No.8 在宅介護ボランティア 輪っこの会



30周年記念祝賀会



健康まつりへの出店

輪っこの会は、在宅・施設支援(話し相手、見守り、行事同行、作業介助等)やふれあいまつり・いわみざわ健康まつりへ参加協力を行っています!

【近年の受賞】

R1北海道社会貢献賞地域活動推進功労者

R3第44回道新ボランティア奨励賞

R5ボランティア功労者厚生労働大臣表彰



【労災病院図書ボランティア「ライラック文庫」が令和6年12月17日をもって解散となりました】

ライラック文庫は平成11年に設立され、北海道中央労災病院での図書の貸出ボランティアとして活動されました。病院を利用される皆さんに本を通じて院内での娯楽を提供していただきました。長きに亘り、地域福祉、ボランティアセンターへ貢献していただき誠にありがとうございました。

ボランティア活動に関することは、ボランティアコーディネーターが相談をお受けします。あなたも、ボランティア活動に参加しませんか?連絡をお待ちしております。

☎ 25-5516 ★土・日・祝日はお休みです。

ボランティアセンター情報

2025.3 発行 NO.70

おもいあし

〒068-0031 岩見沢市11条西3丁目 岩見沢広域総合福祉センター
岩見沢市ボランティアセンター TEL・FAX 25-5516
岩見沢市社会福祉協議会 TEL 22-2960

桜の花便りが届くようになりました。春も近いと思います。今冬は昨年12月に豪雪に見舞われ、毎日毎日途方に暮れる程除雪に明け暮れましたが、年が明けてからはさほどの大雪にもならず済み、長かった冬から解放されます。

しかし、他地方に目を向ければ、異常な程の大雪被害や広大な範囲に渡っての森林火災の被害と、大変な思いをされている方が多くいらっしゃいます。各地で様々な方がボランティア精神を持って活動されており、ボランティア活動の重要性を感じているところでもあります。

令和6年度の岩見沢市ボランティアセンターにおいても、各団体が精力的に活動を展開してくれましたことに感謝致します。



ボランティア活動者研修会



【日 時】

令和7年3月7日(金) 13時30分~15時30分

【場 所】

岩見沢広域総合福祉センター 研修室1・2・3

【内 容】

- ①「LINE体験～スマホで繋がるコミュニケーション～」
岩見沢市ボランティアセンター公式LINEを使った「失敗できる」LINEの体験会

目 標

- ◎周囲の人とLINEの交換ができる
- ◎周囲の人とLINEグループを作り、会話ができる
- ◎研修会以降ボランティアセンターとやり取りができる

- ②「登録ボランティア団体の更新について」
「令和7年度ボランティア活動保険の加入について」

注意事項

ボランティアセンターや社協職員から、銀行の暗証番号等を聴く事は絶対にありません。おかしいと感じたら、返信前に一度電話でご連絡ください。



参加者の声



- 高齢者にはとても分かり易い説明・体験で良かったです。
- LINEに馴染む良い機会でした。資料もとても分かり易く、丁寧な説明でした。ありがとうございました。
- 郵送料が高くなったので、LINEでボランティアセンターからお知らせがくることは良いことだと思いました。
- とっても良い企画だったと思います。ただ、使い勝手が慣れていないと中々難しいですね。

令和6年度

指定地域福祉教育セミナー



日時 令和7年1月31日(金) 13時30分~16時
会場 岩見沢広域総合福祉センター 後援 岩見沢市教育委員会

【目的】 次世代を担う子どもたちの福祉・ボランティアに対する関心と理解を高める

【実践発表】 「指定校としての福祉の学習、ボランティア活動」



岩見沢市立中央小学校
教頭 吉岡 繁 氏



岩見沢市立北村中学校
教諭 河合アユ子 氏

【講話】 「アダプテッド・スポーツを活用した障がい理解」

北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 准教授 大山 祐太 氏

アダプテッド・スポーツ：スポーツ側を工夫したスポーツの総称
不自由や困り事があるから「できない」となるのではなく、どうすれば
できるかという風に考える事が大事。

⇒モノや制度、ルールを変える工夫。「できない」を道具を活用する事で
「できる」に。学校現場では障がいについて正しい知識を与え、福祉教育を
ポジティブに設計すること、そして、まず生徒に体験してもらい、楽しいと
感じてもらうことで、障がい者や障がい自体に対しポジティブな感情を持ってもらいたい。



【体験】 競技用車いす等の道具に触れたり、アンプティサッカー・フロアカーリング等の
競技を体験しました。また、その後参加者の皆様からの質問にも丁寧に答えさせていただきました。

【感想】

☆大変勉強になりました。特に、大山先生のアダプテッド・スポーツのお話は
最後まで集中して聞きました。「目には見えない困り感」を持つ生徒について、
特別支援の観点も含めていろいろと考えることができました。

☆アダプテッド・スポーツを通して、障がいを持った方々だけではなく
スポーツが苦手な子どもや可動域が狭くなったお年寄りとも平等に
スポーツができることがわかった。また、体験させた方が効果的な場合や、
映像を見せた方がよい場合などの傾向を知ることができて興味深かった。

☆大山先生のアダプテッド・スポーツのお話が大変勉強になりました。
どんな障がいがあっても、誰もがスポーツを楽しむことができるように
工夫していくことの大切さがわかりました。スポーツだけでなく普段の
生活でも、誰もが生活しやすいようにしていくことができるような視点を
持って、学校も環境を整えていきます。



令和6年度

福祉体験学習



令和6年11月から令和7年2月までの期間で、小・中学校9校22件938名を対象に福祉体験学習を実施
しました。車いす体験と車いす利用者との交流、聴覚障がい者の講話と手話体験、視覚障がい者の講話とガイド
ヘルプ体験、点訳体験、高齢者疑似体験を通し、実施校の児童・生徒達は障がいのある方を取り巻く環境につ
いて理解を深め自分達に何ができるか考えました。



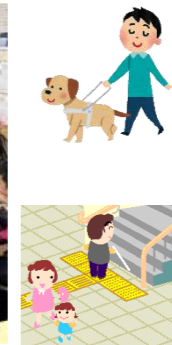
第二小学校 車いす体験

《実施実績》

車椅子体験	4件
手話体験	9件
ガイドヘルプ体験	3件
点訳体験	2件
高齢者疑似体験	3件
その他	1件



南小学校 手話体験



第一小学校 高齢者疑似体験



北真小学校 点訳体験



北真小学校 車いす体験



日の出小学校
アイマスク体験

【車いす体験の生徒さん感想】

○今回の体験を通して、車いすで生活することの大変さを知ることが出来ました。

これから困っている人を見かけたら助けようと思いました。

○車いすの人の大変さと車いすをおす人の責任感を感じました。

【高齢者疑似体験生徒の感想】

○体験を通して目や耳がうまく使えないと、とても不便ということ学びました。

私にできることはやってみようと思いました。



岩見沢社協イメージキャラクター
ざわたま